

「不適正除染に関する通報等」以外の情報提供等について

1. 「不適正除染に関する通報等」以外の情報提供等の属性の推移

「不適正除染110番」(コールセンター及びメールフォーム)に提供された案件のうち、「不適正除染に関する通報等」(資料1-3)以外の件数及び提供者の属性の推移は図1のとおり。平成27年度は前年度に比較して、全体件数や住民からの提供件数が微減したが、除染作業員からの提供件数はほぼ同数であり、全体の過半数を占める。

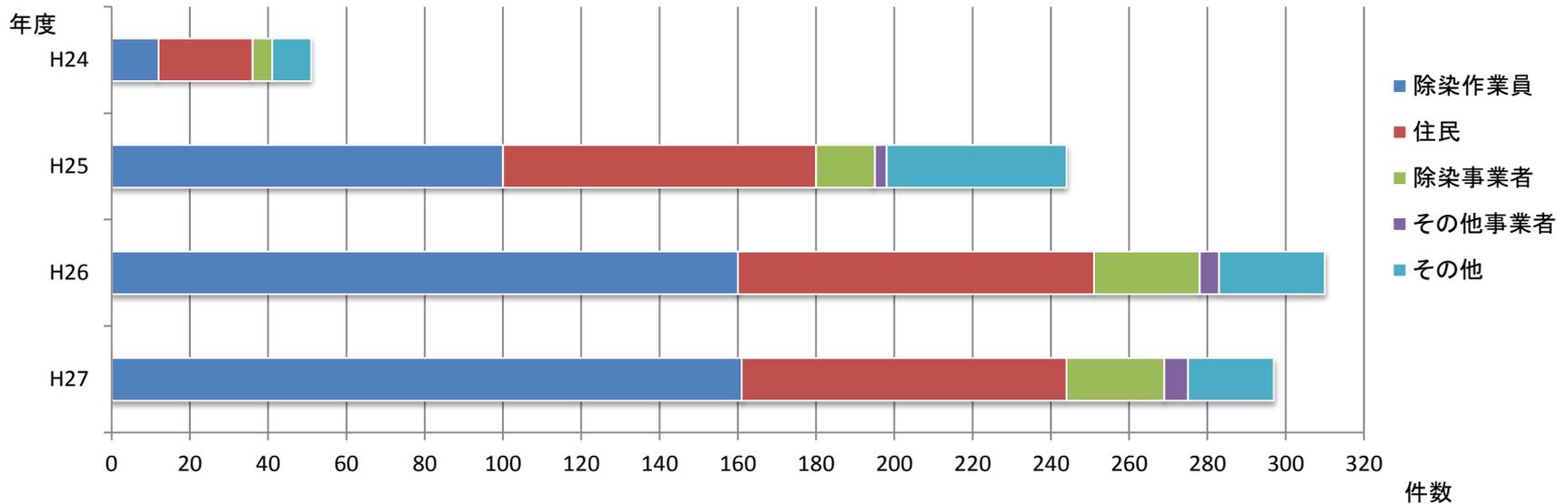


図1 年度毎の「不適正除染に関する通報等」以外の情報提供等の属性の推移

注:

- ・平成24年度は不適正除染110番の開設(平成25年1月24日)から同3月末日までの件数(以下同様)。
- ・「除染作業員」には作業員の関係者(家族等)や元作業員等を含み、「住民」には避難者等を含む(以下同様)。
- ・本図において、「その他」には除染実施区域外の個人等や、属性不明の提供者を含む。

2. 「不適正除染に関する通報等」以外の情報提供等の内容

(1) 除染作業員からの情報提供等

年度毎に増減はあるものの、労働・安全衛生関係の情報提供等の割合が大きい(図2)。

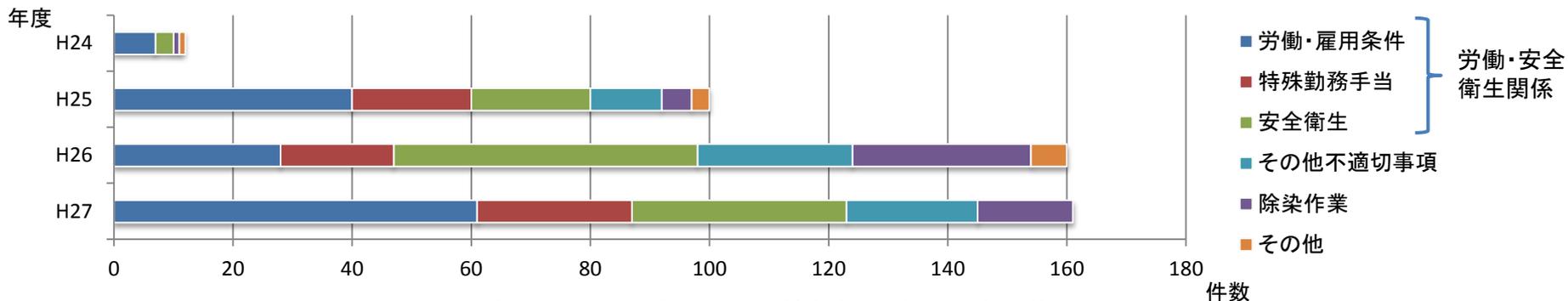


図2 年度毎の除染作業員からの情報提供等の内容の推移

注: 複数の内容を含む情報提供については、主要な内容により分類し、複数カテゴリへのダブルカウントはしていない。

<具体例>

○労働・雇用条件

- ・給与が支払われない。
- ・給与額、手当の支給、食費・宿泊費等の天引き、保険の加入等の各種条件が、当初交わした雇用契約の内容と異なっている。
- ・突然解雇された。

○特殊勤務手当

- ・特殊勤務手当が支給されていない。

○安全衛生

- ・退場時のWBC検査を受けさせてもらえない。
- ・除染電離則に基づく特別教育を受けていない。
- ・労災隠しがあるようだ。
- ・現場での安全管理に不備がある。
- ・退場時に放射線管理手帳が返却されず、次の現場に入れない。

○その他不適切事項

- ・所属している会社が、違法派遣、名義貸し、水増し請求等の不正をはたらいているのではないかと疑われる。
- ・作業員間で暴力・脅迫行為があった。

○除染作業

- ・不適正除染と思われる事案を目撃した。(注: 情報が不明確なために「不適正除染に関する通報等」と見なすに至らなかった。) 2

(2) 住民からの情報提供等

除染作業に関する情報提供等の件数が減少する一方で、除染作業員の素行・マナー・モラルに関する情報提供等の件数・割合が増加している(図3)。

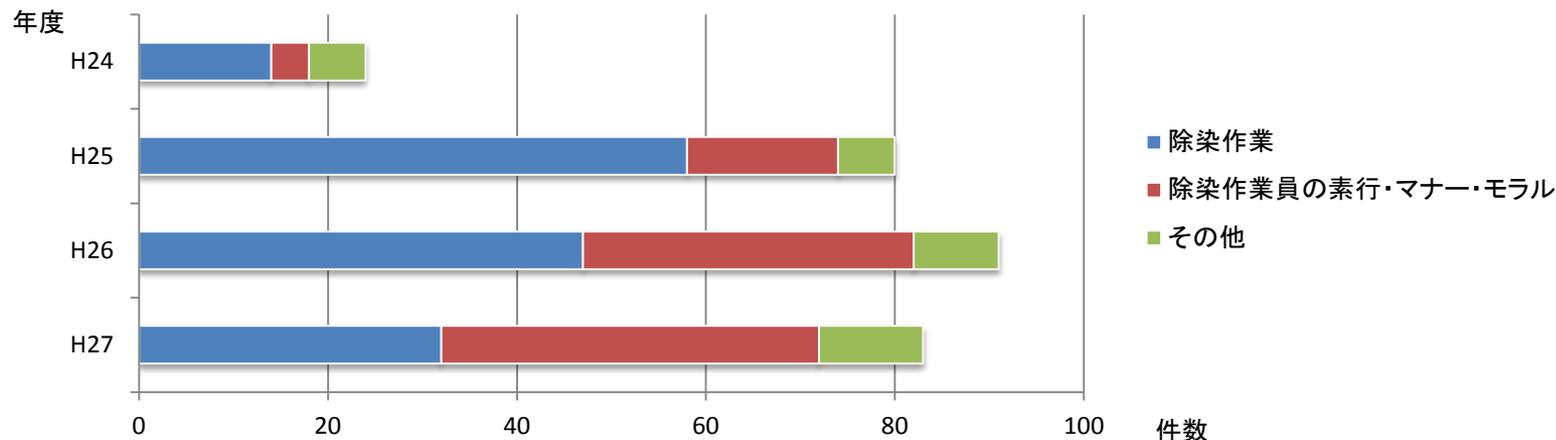


図3 年度毎の住民からの情報提供等の内容の推移

<具体例>

○除染作業

- ・十分な説明のないまま、勝手に立入りや作業をされた。
- ・風雨の中での除染作業は不適正ではないか。
- ・除染作業に係る車両の誘導が不適切で危険。

○除染作業員の素行・マナー・モラル

- ・除染作業員と思われる者が危険運転をしていた。
- ・作業服や生活ゴミ等を投棄された。

(3) 除染事業者からの情報提供等

約半数が上位下請け企業等との契約トラブルに関する相談等。残りは特殊勤務手当の扱いに関する問合せ、新規採用者の放射線管理手帳の未返却に関する相談等。

(4) その他事業者からの情報提供等

除染事業者の家賃や健診費用の滞納等のトラブルを含む。

3. 「不適正除染110番」以外への問合せ等

平成27年度に「除染・廃棄物に関するお問い合わせ窓口」(福島、東京の各コールセンター)に寄せられた、除染に関する問合せ等(福島約1,000件、東京約600件)の属性及び内容の内訳はそれぞれ図4、図5のとおり。内容別では、労働・安全衛生関係の問合せが、福島で約4割、東京で約3割を占める(図5)。

(1) 問合せ等の属性内訳

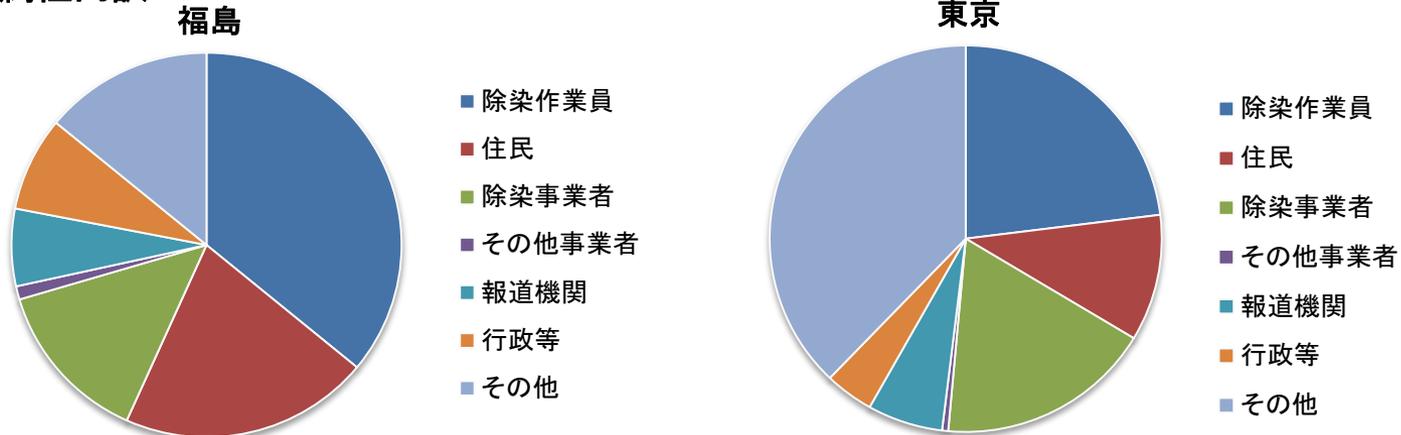


図4 福島コールセンター(左)及び東京コールセンター(右)への問合せ等の属性

注: 本図において、「その他」には、除染実施区域外の個人、今後除染事業への関与を検討している個人や事業者、属性不明の者を含む。

(2) 問合せ等の内容内訳

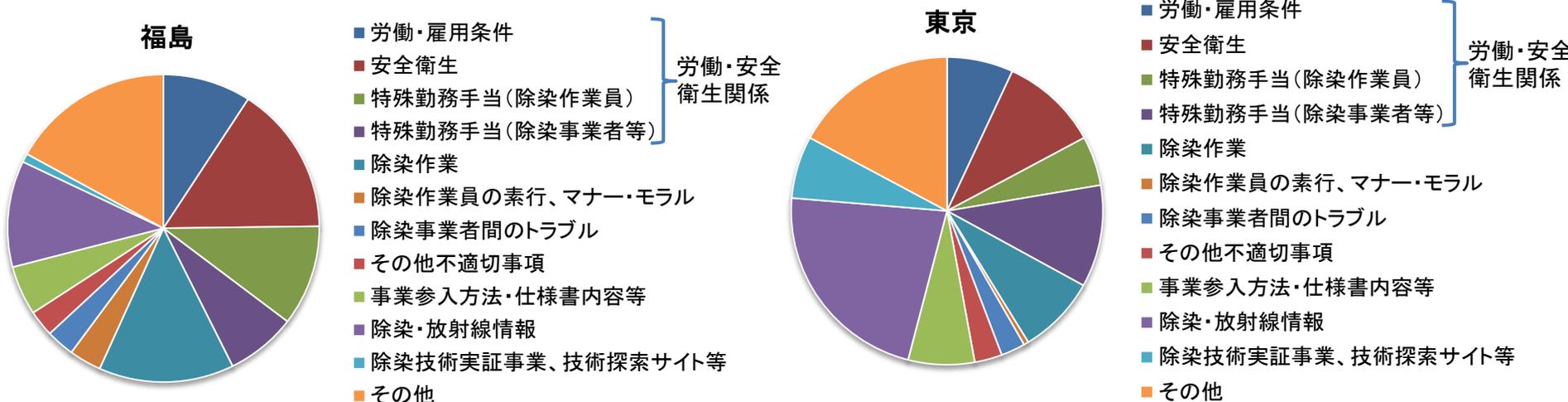


図5 福島コールセンター(左)及び東京コールセンター(右)への問合せ等の内容